

科目名	単位数	学年配当	開講形態	教員名	
福祉経営論	2	1～	オンデマンド科目	岩田 純、綿 祐二	
テーマ	福祉事業体の経営に関し、実践的な経営管理（マネジメント）の在り方を学ぶ				
科目のねらい					
<p>【キーワード】 社会福祉法人と福祉経営、福祉サービス、福祉ニーズ、人材の確保と育成、財務管理 会計制度</p> <p>【内容の要約】 福祉経営は、事業運営や人材育成・人材開発であるマネジメント領域と財務及び労務などのアドミニストレーション領域の両面から学習していくことが重要である。マネジメントでは、福祉事業体の理解、理論と実践の融合できる専門職、福祉現場のリスクマネジメント、意思決定支援の実際、人権擁護および専門職倫理、リーダーシップに関する基礎理論、集団の力学に関する基礎理論などを学修する。労務および財務では、管理運営の基礎理論、人事考課、労務環境整備、今後の経営戦略などを学ぶ。福祉経営を福祉と経営の両面から包括的にとらえていくことが重要になってくる。福祉事業体の経営に関し、基礎的な内容と、実践的な経営管理（マネジメント）の在り方を学ぶことが本講義の目的である。</p> <p>●障害者福祉施設で相談援助業務に従事し、かつ社会福祉法人理事長である教員が、障害者福祉現場における課題や人材養成に関する講義を行う。</p> <p>【学習目標】 福祉サービスに係る組織や団体（社会福祉法人、医療法人、特定非営利活動法人、営利法人、市民団体など）について理解できる。 福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論について理解できる。 福祉サービスの経営と管理運営の方法と実際について理解できる。</p>					
授業のながれ					
1. 福祉経営の基本的枠組み	16.				
2. 社会福祉法人と福祉経営	17.				
3. 福祉ニーズの高まりと多様化に対応するサービス提供組織	18.				
4. 福祉サービス組織の経営改革	19.				
5. 福祉サービスの組織と経営に関する基礎理論（1）	20.				
6. 福祉サービスの組織と経営に関する基礎理論（2）	21.				
7. 福祉サービスの組織と経営に関する基礎理論（3）	22.				
8. 福祉サービス提供組織の経営と実際	23.				
9. 人材の確保と育成	24.				
10. 社会福祉法人における財務管理	25.				
11. 社会福祉法人における会計制度と計算書類等	26.				
12. 適切なサービス供給体制の確保	27.				
13. 人事管理と労務管理	28.				
14. 福祉サービスの管理運営の実際（1）	29.				
15. 福祉サービスの管理運営の実際（2）	30.				
準備学習の内容・学ぶ上での注意			事前事後学習		
教材内には確認テスト、小テストが設けられています。小テストは、80%以上の正答率で合格となります。			事前	推薦図書をはじめとした関連分野の書籍を手にとってみる。	10 時間
			事後	確認テスト、小テストに取り組む。	8 時間
			事後	興味をもった講に関して学習を深める。	10 時間
成績評価の方法					
期末試験（筆記・Web・レポート・最終授業内 授業内でのレポート・課題等 0% その他 0%	100%	すべての講義コンテンツを視聴し、すべての小テストに合格後に受験する科目修了試験により合格を判定する。評価基準は、A（100～80 点）、B（79～70 点）、C（69～60 点）を合格、D（59 点以下）を不合格とする。			
テキスト					
■講義資料集を使用する		岩田 純、綿 祐二 【講義資料（冊子）】 本学オリジナル			